

第6学年1組 国語科学習指導案

平成29年11月21日（火）5校時

指導者 担任

司書教諭

学校司書

1. 単元名 町の未来をえがこう

「町の幸福論～コミュニティデザインを考える」（東京書籍 6年）

2. 単元の目標

- ・意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発表することができる。（話すこと・聞くこと）
- ・複数の資料から読み取った情報を、目的に応じて活用することができる。（読むこと）

3. 本単元に関わる情報リテラシー（松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導体系表」による）

- ・課題に応じて複数の資料や情報を集める。（D）
- ・聞き取り調査をする。取材する。（E）
- ・複数の資料を効果的に活用する。（K）
- ・著作権を知る。（I）
- ・プレゼンテーションをする。（M）

4. 単元設定の意図

（省略）

5. 単元の評価規準

| 国語への 関心・意欲・態度 | 話す・聞く力 | 読む力 | 言語についての 知識・理解・技能 |
|--|---|---|-------------------------|
| ・自分たちの町の未来に関心を持ち、教材文や本、資料を読んで調べ、その内容を相手に伝えようとしている。 | ・目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話している。 ・話し手の考え方を理解し、自分の意見と比べながら聞いている。 | ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読んでいる。 ・目的に応じて、複数の本や資料を選び、比べて読んでいる。 | ・目的に応じた文章の構成について理解している。 |

6. 単元の指導計画と支援と評価（全15時間、本時8/15）

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 支援 (◎担任 ◆司書教諭 ◇学校司書) | 【評価規準】 (方法) |
|-----------------------|------------------|--|--|---|
| 一 つ か む | 1 | <p>○p.129、130 文を読み、学習の見通しを立てる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">未来の竹矢について プレゼンテーションで紹介しよう ～人々がつながる公民館の活動～</p> </div> <p>○自分たちのすむ竹矢にどんな取組があるのか考える。</p> <p>○プレゼンテーションの仕方について確認する。</p> <p>○教材文を読む。</p> | <p>◎教材文をもとにコミュニティデザインを知ったり、学習の流れを確かめたりできるようにする。</p> <p>◆プレゼンテーションの意味や仕方について確認することで、発表のイメージをもつことができるようにする。</p> <p>◇教室に「公民館だより」や「コミュニティデザイン」に関する本を用意しておき、教材文と並行して読んでいくようにする。</p> <p>◇「関連リスト」作成</p> | <p>【関】教材文の内容に関心をもち、プレゼンテーションするという学習課題を確かめ、進んで学習に取り組もうとしている。(行動観察・発言)</p> |
| | 2 | <p>○公民館では、どのような活動が行われているのか調べる。</p> | <p>◎児童が参加する活動について調べることで、自分自身のこととして考えることができるようにする。</p> | |
| 二 追 求 す る | 3 4 5 6 | <p>○「町の幸福論」を読み、本文の内容を読み取る。</p> <p>○図や表などの資料の効果的な使い方を知る。</p> <p>○文章の要旨を読み取り、筆者のメッセージを踏まえて、町の未来についての自分の考えをもつ。</p> | <p>◎文書構成図を使ってまとめていくことで、序論、本論、結論の構成や内容を確認することができるようにする。</p> <p>◎資料の効果やよさについて考え、プレゼンテーションに生かすことができるようにする。</p> <p>◎文章の要旨を読み取り、自分たちの町の未来について自分の考えを書き、自分の町と関連づけて考えられるようにする。</p> | <p>【読】プレゼンテーションを行うという目的を意識し、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか読んでいく。(ノート・発言)</p> <p>【言】目的に応じた文章の構成について理解している。(ノート・発言)</p> |

並
行
読
書



| | | | | |
|------------------|---------|--|--|--|
| 三 深 め る | 7 | <p>○ビデオを見て、プレゼンテーションのイメージをもつ。</p> <p>○テーマごとにバックキャストリングを考える。</p> | <p>◆ビデオの内容をバックキャストリングで表すことにより、自分たちのテーマについてバックキャストリングの具体的な方法を知ることができるようにする。</p> <p>◎バックキャストリングの考え方をもとにすることで、自分たちがやるべきことと、未来のイメージが明確になるようにする。</p> | <p>【話・聞】自分たちの考えが伝わるような資料の集め方を話している。(行動観察・ワークシート)</p> |
| 8 本 時 | 8 | <p>○バックキャストリングをもとにやるべきことを確認する。</p> <p>○プレゼンテーションに必要な資料を考え、調べる計画を立てる。</p> | <p>◎前時に考えたバックキャストリングをもとにすることで、やるべきことと発表に必要な資料が関連するようにする。</p> <p>◆必要な資料の説明をすることで、自分たちに必要な資料を選ぶことができるようにする。</p> <p>◇必要に応じて、適切な資料を提示する。</p> | <p>【話・聞】自分たちの考えが伝わるような資料の集め方を話している。(行動観察・ワークシート)</p> |
| 課 外 | 課 外 | <p>○インタビューやアンケートを行い、情報を集める。</p> | <p>◎調べたいことを明確にすることで、効果的に情報を得ることができるようにする。</p> | |
| 9 10 | 9 10 | <p>○グループで集めた情報を整理し、提案することや事例を決める。</p> <p>○事例に関連する資料を考える。</p> | <p>◎◆◇調べた情報や事例を事例カードに整理することにより、調べた内容を分かりやすくする。</p> <p>◎◆◇多様な意見をもとに話し合うことができるよう、グループで集めた情報を整理し、どんな提案をするか話し合うようにする。</p> <p>◎◆◇自分たちの描く未来の町の姿を、短い言葉で表すことにより、明確に町の姿を意識できるようにする。</p> <p>◎提案することが未来の町の姿に関連するように、バックキャストリングの方法を参考にさせる。</p> | <p>【話・聞】調べて分かったことや考えたことを関連づけ、発表の内容や必要な資料を考えている。(行動観察・メモ)</p> |

| | | | |
|-----------------------|---|---|---|
| 課外 | ○インタビューやアンケートを行い、情報を得る。 | ◎事前の調査で不十分な内容に絞ることで、当初の提案から広がりすぎないようにする。 | |
| 11 | ○グループ内で構成内容を考え、構成メモにまとめる。 ○発表に必要な資料を作成する。 | ◎◆◇提案や事例を構成メモに整理することで、話す順序を意識できるようにする。 ◎◆◇伝えたいことを短い言葉にまとめることで、伝えたいことが明確になるようにする。 ◎ふさわしい情報に絞るために、話の一まとまりにつき一資料を原則とすることを知らせる。 | 【話・聞】意図が伝わるように、情報を選んで話の構成を工夫し、必要な資料を作成している。(構成メモ・資料・行動観察) |
| 12 | ○構成メモをもとにプレゼンテーションの練習を行う。 ○説得力のある話し方の工夫を考える。 | ◎事前に他のクラスの発表を聞くことで、プレゼンテーションのイメージをもつことができるようにする。 ◎◆◇工夫したい点を押さえることにより、聞き手を引きつける話し方や資料の見せ方ができるようにする。 ◆◇グループで互いの発表を聞き合い、質問や助言をすることで、よりよい発表ができるようにする。 | 【話・聞】資料を効果的に活用して分かりやすく話す工夫を考えて、プレゼンテーションの練習をしている。(プレゼンテーション・ノート) |
| 四 伝 え 合 う | 13 14 ○自分たちがえがいた「町の未来」についてのプレゼンテーションを行う。 | ◎聞き手を意識できるように、聞き手の反応を確かめながら話すように意識させる。 ◎発表構成の分かりやすさ、資料の使い方の工夫など聞くポイントを示すことにより、分かりやすい発表になったか判断できるようにする。 | 【話・聞】聞き手に意図が伝わるように話の構成や資料の見せ方を工夫して話したり、話の意図をとらえて自分の意見と比べながら発表を聞いたりする。(プレゼンテーション・行動観察、メモ・発言) |
| 15 | ○単元の学習を振り返る。 | ◎他のグループから出された感想や助言、提案を確かめることで、自分たちの発表を振り返ることができるようにする。 ◎「言葉の力」を参考にすることで、今後の学習で活用したいことを考えるようにする。 | 【話・聞】資料を活用して、意図が明確に伝わるような発表をするために大切なことを理解している。(発言・ノート) |

7. 本時の学習

(1) 本時の目標

プレゼンテーションに必要な資料を考え、グループで資料収集の計画を立てることができる。

(2) 本時にかかわる情報リテラシー

- ・課題に応じて複数の資料や情報を集める。(D)

(3) 展開

| 学習内容と予想される児童の反応 | 支援と手立て ◎担任 ◆司書教諭 ◇学校司書 【評価】(方法) |
|--|---|
| <p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> プレゼンテーションに必要な資料を考え、調べる計画を立てよう。 </div> | <p>◎ビデオのバックキャストの図をもとにして説明することで、本時に行うことが明確になるようにする。</p> |
| <p>2. プレゼンテーションに効果的な資料について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・アンケート ・インターネット、たより、図書資料 ・写真 | <p>◎事前の学習や並行読書で分かったことを情報カードに記入しておき、活動内容が想起できるようにする。</p> <p>◆プレゼンテーションに効果的な資料について説明することにより、自分たちの発表にあった資料を考えることができるようにする。</p> |
| <p>3. 調べる方法や分担を話し合い、調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー 公民館、参加者 ・アンケート 家庭、子ども、参加者 ・インターネット、たより、図書資料 他の公民館 ・写真 活動の場所、様子 | <p>◎グループで作成したバックキャストの図をもとにして考えることで、やるべきことに合った資料を選択できるようにする。</p> <p>◎◆◇グループを回りながら助言することで、より適切な資料を選択することができるようにする。</p> <p>◇必要に応じて適切な資料を提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【話・聞】自分たちの考えが伝わるような資料の集め方を話している。(行動観察・ワークシート) </div> |
| <p>4. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> | <p>◎次時は、インタビューや情報収集していくことを伝える。</p> |

(4) 本時の評価

| | 十分満足できると判断される児童の具体例 | 概ね満足できると判断される児童の具体例 | 支援を必要とする児童への支援の手立て |
|--------|--|--|---------------------------------------|
| 話す・聞く力 | 効果的な資料を見通して、自分たちの考えが伝わるような資料の集め方を話している。(行動観察・ワークシート) | 自分たちの考えが伝わるような資料の集め方を話している。(行動観察・ワークシート) | バックキャストのやるべきことをもとにして、どんな資料が必要か一緒に考える。 |

(5) 授業の視点

- ・バックキャストの図をもとに資料を考えたことは、必要な資料を選択するのに有効であったか。